

「もりあがり が たりないっ!？」

朝、各教室から「もっ、もりっ、もりあつ、もりあがり が たりないっ!」と大きな声での応援コールが聞こえてきます。この『もりあがり が たりない』は、今年の全国高校野球甲子園大会で、さまざまな学校で使われた応援コールです。言葉(文字)とは裏腹に、千代田中部小学校も体育大会モード一色になって、大いに盛り上がっています。(実際にこの応援コールを聞いたことがないと、「もりあがり が たりない」ってどういうこと?? って思ってしまうです。)

体育大会は、紅(赤)白対抗です。中部小学校は、学年単学級ですので1つのクラスが紅白に分かれて対戦することになります。6年生の二人の応援団長を筆頭に、団(組)をまとめてくれています。それぞれの団長に抱負や意気込み、メッセージを尋ねてみました。

赤組団長 6年 森 みなと さん 「ずっと団長にあこがれていました。大玉運びの競技が楽しみです。一致団結してがんばりたいです。団長として大きな声を出して赤組をひっぱりたいです。みんなで協力して体育大会をもりあげましょう!」

白組団長 6年 吉田 ゆうま さん 「1年生の初めての体育大会のとき、団長の姿を見てかっこいいと思っていました。6年生は最後の体育大会です。心に残る大会にしたいです。白組のみなさん、全力疾走でがんばりましょう!」

6年生は、団長に続き、副団長、団旗、太鼓、振り付け、団旗作成、応援グッズ作成、と全員が役を担い体育大会を支えています。団長の言葉にあるように、6年生は最後の大会です。6年生全員、そして5年生以下全児童が一致団結して、体育大会を盛り上げてほしいと願います。もちろん、その後ろからは職員がしっかりと支えています。



がんばったね!

夏休みに募集された理科の自由研究作品において、出品した3名は地区入選となりました。おめでとうございます。3名とも研究の着眼点がおもしろいです。職員室前のろうかにはしばらく展示します。

『節電しよう!! 未来のために』

6年 副島りん さん

『えき体を変えると 植物はどうなる?』

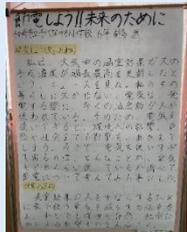
5年 仁井さきよう さん

『水中シャボン玉』

4年 境ののか さん

いろいろな宿題も多い中、やってみようと思う気持ちがすばらしいです。

理科が好きな私(校長)は、「よし、今年は〇〇を研究しよう」と、思いは持ちながら、一度も達成させることなく小学校6年間を終えました。



校長のひとりごと

「へえ、あの子って、おどない無口な感じだと思ってたけど、あんな笑顔で踊るんだ」

各学年の体育大会の練習風景を見ながら思います。

体育大会(体育の世界)では、ダンスは「表現」と呼ばれます。何を表現するのでしょうか。団体演技(表現)種目にはタイトル(テーマ)が付けられます。『心をついに~』や『みんな輝け~』などです。団体としては、このテーマを表現します。

一人一人を見てみるとどうでしょうか。

「楽しい」「おもしろい」「私を見て」「がんばろう」「はずかしい」「きつい」「めんどうくさい」...

ダンスの上手、下手とは関係なく、その心が見えるんです。伝わってくるんです。

体育大会のダンスは、心の表現でもあります。上手でなくてもかまいません。見る人に自分の何を伝えたいのか、考えながら本番に向かってほしいと思います。